

S. P. P.

三重大学伊賀研究拠点で水質環境検査

S. P. P. というのは、サイエンス パートナー・シップ プロジェクトの略称で、独立行政法人科学技術振興機構の事業の一つです。



7月31日（火）に伊賀市ゆめが丘にある三重大学伊賀研究拠点で、LED と太陽電池を利用した手作りの簡易比色計を用い、上野地区4河川の水質検査実験を行いました。



午前は、純水や水道水、天然水の“きき水”一試飲してどの水が美味しく感じるかの順位づけ（もちろん何の水かは知らされていません）と、手作り簡易比色計の原理－LED の光を資料溶液に照射し、その透過強度を太陽電池の起電力で測定する装置－の学習をしました。LED には極性一電池のつなぎ方によって点灯する場合と点灯しない場合がある－があるという半導体の基本的な性質なども体験して学びました。



午後は、雨水、伊賀市水道水、比自岐川、柘植川、往古川、久米川の水について、午前中学習した手作り簡易比色計を使って硝酸態窒素とリン酸態リンの濃度を調べる水質分析を行いました。まず、濃度の分かっている標準液を使い簡易比色計の起電力と濃度の関係を調べ検量線を作成し、その検量線を用いて、4河川や雨水・水道水の硝酸態窒素とリン酸態リンの濃度を調べました。



かなりレベルの高い内容でしたが、みんなしっかりと取り組んでいました。

8月3日（金）には、今回の水質検査実験やさらに調べた内容についての発表会を行いました。発表内容も充実していましたが、各発表に対する質問もたくさん出て、大変活発な発表会となりました。

理数科1年生
京大吉田キャンパス訪問

7月20日（金）、上高OBの京都大学副学長 塩田浩平先生と4人の現役京大生を訪ねて、京都大学吉田キャンパスを訪問しました。



塩田先生は、ご自身の研究（人間の発生学に関する研究）と京都大学の“今”や“目指していること”についてお話してくださいました。京大現役生であるOB・OGは、京大での大学生活の様子や高校時代の勉強の仕方について、楽しく・熱心に、後輩である理数科1年生に語りかけてくれました。

